

事業番号	02 10 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	松本空港課		
		実施期間	S40 ～	E-mail	airport @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・信州まつもと空港の利用者数はR4年度に25年ぶりとなる20万人を突破したほか、R5年度も前年を上回るペースで推移しており、コロナ禍から航空需要が回復する中において国内路線は順調に推移している。
・一方で国際路線について、各航空会社はコロナ禍以降の機材不足・人材不足の中で定期便の回復を優先しており、国際チャーター便の就航はゼロとなっている。
・国内路線の拡充や国際チャーター便の誘致を目指す中、受入拡大に向けて空港施設の諸機能が健全に発揮されるよう、空港の適切な維持管理を図る必要がある。

2 事業目的

信州まつもと空港の利活用・国際化や機能強化を推進し、長野県唯一の空の玄関口として、県民の移動の利便性向上や観光・交流の促進、県内経済の活性化に貢献できるようにする。
--

3 事業目的を達成するための取組

①定期便の利用促進と新規路線の開拓
・県内や就航先における需要確保のため、広告宣伝やイベントを活用したPRを展開、商品造成に向けた旅行会社への助成を実施
・信州まつもと空港を利用した関西方面へのアクセスを提案するため、2025年開催の大阪・関西万博を契機とした広告宣伝を実施
・沖縄とのチャーター便の運航回数の拡大を図るため、旅行会社への働きかけや商品造成に対する支援を実施
・空港が賑わいの拠点として機能するよう、ジェット化開港30周年を契機とした魅力向上事業としてフォトスポットの制作・設置やイベント等を実施
②国際化に向けた誘致活動
・国際チャーター便誘致のため、航空会社へのエアポートセールスや旅行商品の造成・販売・催行の際の旅行会社や航空会社の費用を助成
・個人旅行客の乗継利用を促進するため、就航先空港や航空会社等と連携した国際乗継のSNS広告を実施
③空港の維持管理及び機能強化
・安心安全な空港運営のため、各種保守管理業務委託、施設修繕、設備更新等による維持管理を実施
・駐車場の混雑解消のため、正面駐車場の整備と第三駐車場の増設に必要な設計等業務及び用地補償を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	国内定期便利用率	%	66	73	↗	71	↘	70	達成	航空路線の維持及び拡充を図るため、R5年度の国内定期便（季節運航便を含む）の利用率推移を見込んだ数値を設定
②	国際チャーター便就航便数	便	0	0	→	4	↗	24	未達成	旅行会社から航空会社への国際チャーター便運航のオーダー数を踏まえた就航見込み便数を設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1④	本州中央部広域交流圏の形成	★信州まつもと空港利用者数	千人	2022 (R4)	229	2023 (R5)	259	2024 (R6)	258	2027 (R9)	267
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	139,182	464,082	42,452	645,716	496,277	593,975	16.0
R5年度	0	787,987	△ 15,737	772,250	444,510	618,064	16.0
R4年度	0	413,956	28,537	442,493	309,320	435,124	16.0

事業番号	02 10 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	松本空港課		

7 主な取組実績と成果

① 定期便の利用促進と新規路線の開拓

- ・県内や就航先における需要確保のため、広告宣伝やイベントを活用したPRを展開、商品造成に向けた旅行会社への助成を実施
- ・神戸線の認知度向上のため、イベント参加（年間 5 回）、神戸エリアを対象としたWeb広告やデジタルサイネージ等でのPR及び、旅行商品造成のための旅行会社へのセールス活動（5 社）や送客助成（5 社）を実施
- ・沖縄チャーター便の運航に向けて、知事によるトップセールス（令和 7 年 1 月）をはじめとする航空会社・旅行会社への営業活動や、旅行商品造成費用の助成を実施し、過去最高の運航便数に並ぶ20便のチャーター便が運航

② 国際化に向けた誘致活動

- ・航空会社及び旅行会社に対するエアポートセールス（韓国、台湾、東京）の実施
- ・韓国の航空会社・旅行会社による松本空港の視察
- ・知事による台湾の航空会社・旅行会社等へのトップセールス（令和 6 年12月）
- ・航空会社及び旅行会社に対して、国際チャーター便の運航に係る経費や旅行商品造成費用を助成
- ・個人旅行客の乗継利用を促進するため、航空会社と連携した国際乗継の広告宣伝及びファムツアーを実施
- ・航空会社及び旅行会社への継続したエアポートセールスにより、4 年 8 カ月ぶりとなる国際チャーター便がモンゴル（ウランバートル）との間で計 4 便運航

③ 空港の維持管理及び機能強化

- ・空港運営に必要な電気設備が安定して機能するための維持管理として、航空灯火の雷害対策修繕や電源局舎の空調設備更新等を実施
- ・駐車場の混雑解消のため、正面駐車場の整備と第三駐車場の増設に向けて必要な測量等業務を実施（用地補償は翌年度に繰越）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	国内定期便利用率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↘	達成状況	達成
・GWや年末年始の曜日並びが良く航空需要が高まったことに加えて、冬ダイヤ期間における札幌新千歳便の複便化（7 3 日間）、神戸線のダイヤ見直しによる利便性の向上により冬場の利用者が増加し、目標値の達成に繋がった。 ・定期便の利用率は堅調に推移しているが、コロナ禍からの回復による旅行需要が落ち着いたことから前年度の利用率には達しなかった。							
指標 ②	国際チャーター便就航便数	R5年度推移	→	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
・令和 2 年度以降国際チャーター便の運航がなかったが、コロナ禍においても継続的に航空会社・旅行会社へのエアポートセールスを実施したことにより、4 年 8 カ月ぶりとなる国際チャーター便がモンゴル（ウランバートル）との間で計 4 便運航した。 ・一方でコロナ禍以降の世界的な機材・人材不足により、航空会社が定期便の回復を優先していることから、目標便数の運航には至らなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・国内定期便の利用率は全路線で堅調に推移しているものの、他路線と比べて神戸線の利用率が低いことから、引き続き利用者確保に向けた認知度向上が必要。
- ・国際チャーター便については、運航に必要な機材・人員が確保できる新たな航空会社の開拓が必要。
- ・国内路線の更なる利用率向上や国際チャーター便の誘致に向け、空港の適切な維持管理や計画的な施設機能の強化が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・神戸線のさらなる利用者確保に向けて、大阪・関西万博を好機と捉え、関係各所と連携した相互送客事業、各種広告宣伝、イベント等を実施し、県内・関西地域での路線認知度向上と需要喚起を図っていく。
- ・国際チャーター便の就航便数増加を目指し、就航実績のある航空会社に加えて、松本空港に適合する機材を持つ新興航空会社にも旅行会社と連携してエアポートセールスを実施していく。
- ・利用者の増加に対応するため、各種保守管理、施設修繕、設備更新等による適切な維持管理を実施するとともに、空港の将来を見据えた空港施設の機能強化の検討を進めていく。

事業番号	02 10 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費		部局	企画振興部 交通政策局	課・室	松本空港課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	信州まつもと空港活性化事業費		36,987 千円	40,365 千円	58,103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州まつもと空港利用促進協議会負担金	負担金	県内市町村、関係団体と連携して空港の利用促進を図るための協議会への負担		
			利用促進事業に係る補助件数74件		
2	国内線拡充・国際化促進事業	負担金	・定期便の利用促進や国際チャーター便誘致のためのエアポートセールスを実施 ・国際チャーター便誘致のため、旅行会社や航空会社に対して旅行商品の造成・販売・催行時の費用を助成		
			エアポートセールス訪問団体数50件		
3	空の日事業負担金	負担金	空港に対する理解促進を図るため、スカイフェスティバルin松本を開催		
			年に1度（9月8日）開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	空港管理費		398,137 千円	577,699 千円	526,812 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	各種保守管理業務委託	委託	安全な空港維持管理を図るため、消防警備、灯火保守管理、除雪業務、緑地管理業務等の委託を実施		
			消防警備等各種業務委託を365日実施		
2	施設修繕・更新等	直接	・安全な空港維持管理を図るため、灯火設備雷害対策修繕、電源局舎空調設備更新等を実施		
			・駐車場の混雑解消のため、正面駐車場の整備と第三駐車場の増設に必要な測量等業務を実施（用地補償は翌年度に繰越）		
3	ハイジャック等防止対策事業費補助金	補助金	電源局舎空調更新4台、駐車場用地測量1筆		
			ハイジャック等の防止のため、航空会社が行う保安検査員の配置等に対して補助【補助対象事業者：(株)フジドリームエアラインズ、補助率1/2】		
4	松本空港周辺環境整備事業補助金	補助金	ハイジャック等防止検査員5名、預入手荷物検査員3名、地上作業監視警備員1名配置		
			空港周辺の環境整備のため、公民館整備及び騒音防止機能回復工事に対して補助		
			公民館整備1件、騒音防止機能回復工事5か所		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	信州まつもと空港における賑わい創出事業		— 千円	— 千円	9,060 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ジェット化開港30周年を契機とした魅力向上事業	委託 補助金	空港が賑わいの拠点として機能するよう、ジェット化開港30周年を契機とした魅力向上事業としてフォトスポットの制作・設置やイベント等を実施（県民参加型予算）		
			見学者デッキにフォトスポット設置 1 か所		